



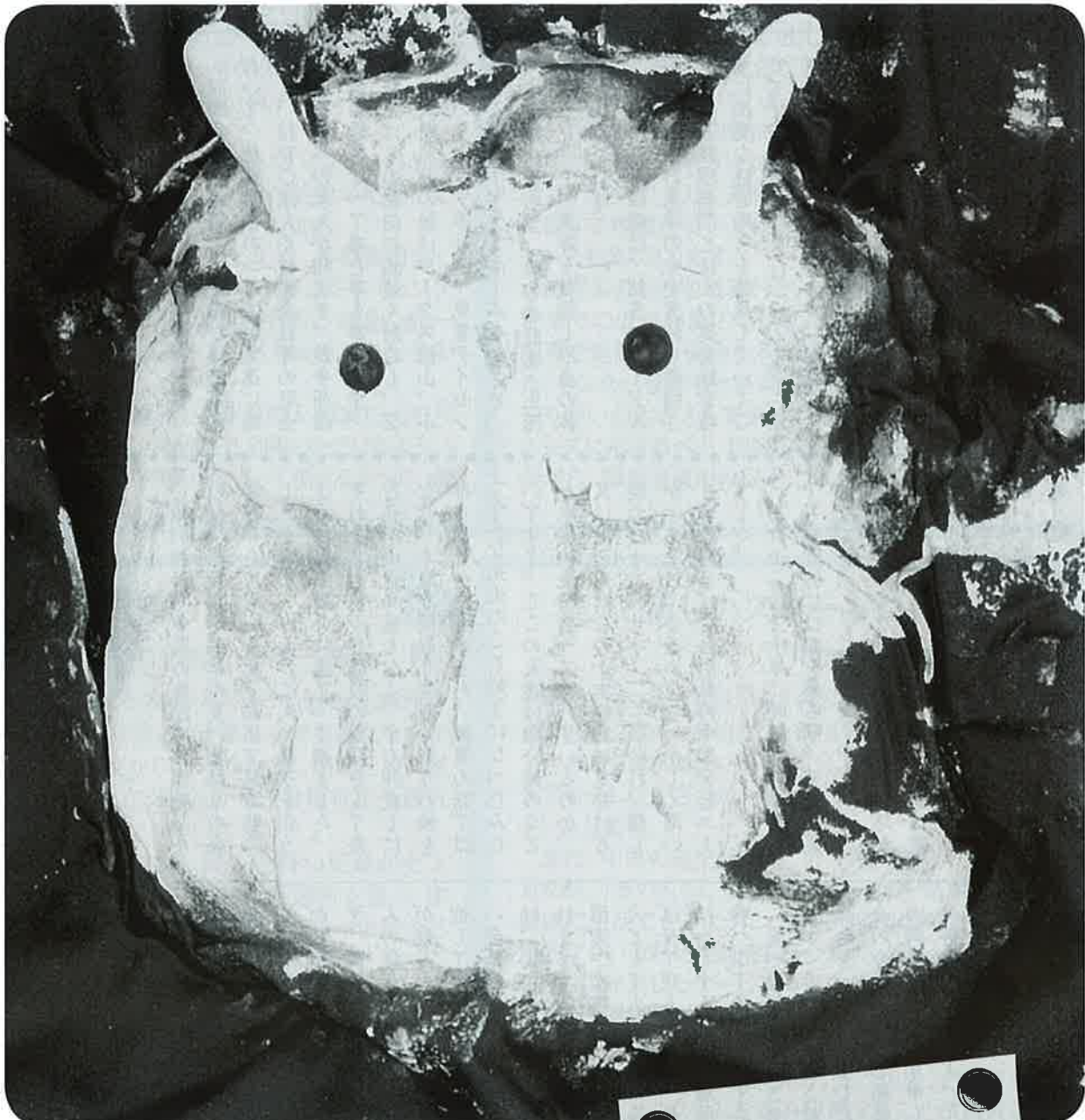
第24号

にじのかけはし

○発行年月日
平成25年7月20日

○発行
社会福祉法人
安房広域福祉会

〒294-0231
千葉県館山市中里288-1
☎0470-28-2422
FAX0470-28-2424



タイトル『鬼』
荒井智広作
～アートセラピーにて～



顧問就任のご挨拶

顧問 宮崎 健一

皆様お元気ですか。毎朝の散歩道で「あじさい」の紫の大輪が、初夏の季節到来を告げています。

私は去る一月末に社会福祉法人安房広域福祉会の理事長職を無事に終え安堵いたしました。が、ゆつくり休み過ぎると健康など万事によくないよ、という親心なのでしょう。退任のご挨拶をした役員会の席で後任の武田理事長さんから顧問の辞令を頂戴いたしました。理事長と理事の期間を合わせ十六年間大変お世話になりました。

お陰様で大過なく退任できましたことを心底から感謝御礼申し上げます。

平成九年一月に初代理事長の斉藤先生から突然に理事就任の要請を受け多くの未経験でしたが、理事に就任してみても、中里の存在の重要性と社会福祉事業の大きさ、深さ等を認識したことでした。

この間、社会福祉を取り巻く外部環境は急速な変化を続けて来ましたが、我が国の福祉は永い間の措置制度で随分と発展を遂げてきましたが、この数年は事業経営制度という体制に様変わりし、社会福祉法人の経営努力としての福祉支援の質と量が重視され、その成

果を問われる時代になって来ました。

同時に現在の厳しく複雑な経済下において、社会福祉のニーズが急速に高まり、NPO法人や株式会社等の社会福祉事業への参入が相次ぎ、競争原理が働く場となって来た事も事実です。

当法人はこの動向に迅速に対応し、2つの入所施設の他にワークス館山、ふれあいシヨップ平砂浦、児童デイセンターこすもす、ケアホームなかざと、同平砂浦、桜の里、障害者就業・生活支援センター中里等を新設し万全の体制を整えました。

顧問の私の課題は、相当にハードルの高い新会計基準の完全実施を要請されている経理部門と法人の健全経営推進に必要な経営助言を提供していくことです。現役時代とは一線を画し「過ぎたるは及ばざるが如し」にならぬよう心掛けベストを志向して参ります。

結びに皆様の御健康と中里全施設の益々の御発展を祈念し、顧問就任の御挨拶を申し上げます。



中里は私のパワースポット

顧問 大田 文枝

私が初めて中里の施設にお邪魔したのは、昭和六十二年の夏、盆踊りの会場だったと思います。初めて見る物珍しさからか、一人、二人と様子を伺うように私の周りに集まって来ました。それまでも色々な施設の慰問をして来た私には違和感もなく、すぐ仲良しになり、手取り足取り楽しく踊りの輪を作ることが出来ました。職員の話では「みんな先生のこと好きになったみたいですよ。この人達は自分達のことを本当に愛情持ってくれているのか、又は上辺だけなのか本能的に見分ける能力はすごいんです。」と言われ、嬉しかったこと。今改めてなつかしく思います。思えばこれが私の中里デビューでした。

あれから約三十年。時間的には長くても感覚的には眼を擦る間。でも後先おぼろながらも中身はぎつしり。不思議に、いやなことは何一つ思い浮かびません。思うに、この施設には常に愛情と善意が溢れており、細々行き届いているので訪問者にも心優しく温かい。職員は担当の利用者にしっかりと寄り添い優しく見守る。手を繋いだり肩を抱いたり、どこかで触れ合っ

ている。それが安心感や信頼度につながるのでしょうか。良い人材を選ぶのが職場の教育が良いのか職員の方はハイレベル。特に役員はいつも平らからで穏やか。言葉遣いも謙虚で感心させられます。明るく伸び伸びしている利用者さんの様子を見ても、恵まれた日常生活が察しられます。踊りの練習の際に送迎していただくことがあります。短い会話の中から垣間見る仕事への姿勢は、実に真摯で愛情の豊かさが感じられます。まさにこれぞ本物。純粋な利用者さんに偽物は通用しません。私は人として大切なものをここで改めて学ばせて頂きました。私にとって中里はほっとする癒しの場所であり、ある意味パワースポットかもしれません。

長い間評議員をさせて頂いてきましたが、この度退任させて頂き、顧問の辞令をいただきました。安房地域福祉会の今後益々のご発展と関係の皆さまの御清祥をお祈り申し上げ、顧問就任の御挨拶とさせていただきます。

各事業所から

楽しい施設を目指して

中里ワークホーム 次長 青山雄一

田植えも順調に終わりだいぶ暑い日が増えてきました。中里ワークホームでは、本年度は施設の支援サービスの向上を目指し、支援計画の見直しを行い今年度の新たな取り組みを計画しました。

ワークホームの事業面での取り組みは、今までの4事業から「製麺・農産加工・依託」の3事業で進めて行くこととなりました。※ウッドデッキ事業については、ウッドデッキ・規格品(椅子・テーブル)の受注時のみ稼働となります。

また、支援面での取り組みは、パソコンでのケース記録を導入し、利用される方々の状態の把握と支援サービスの向上を目指してまいります。

支援職員の取り組みとしましては、各事業担当・支援担当・委員会などのグループでのミーティングを開催し、支援職員間の情報の共有と支援の統一を図るとともにチームワークづくりを行ってまいります。

以上の3つの取り組みを今年度の大きな柱として、今後も多くの方々に楽しく施設をご利用いただけるよう、また、良いサービスの事業所と言って頂けるように、頑張っていきたいと思っております。

地域の皆様に支えられて

障害者就業・生活支援センター中里 所長 杉村利之

お陰様で開所4年目を迎えた当センターですが、地域の皆様からのご協力のもと、職員一丸となって日々の就労支援に奔走しています。

センター事業を受託する前、企業・社会資源・人口が少ない安房地域で、就労支援の実績を上げることができるのか？と不安を抱いたことを思い出しますが、今では資源の乏しさというのは、さほど理由にはならないということを実感しています。日々の業務で障害のある方が働く現場を開拓していますが、企業の方々のご理解ある対応に対して感謝しています。世間的に障害ある方に対する理解はまだまだ進んでいるとは言い難いですが、突然の企業訪問においても障害者雇用に関する相談を受け入れてくださる企業もあり、雇用に至るケースも多くあります。

障害ある方の地域移行という業務に携われたことは、一般企業での就労経験のない私にとって、企業経営や実務の状況等を垣間見る機会も多く勉強させていただく毎日です。また、センター登録者と企業の支援を通じ一喜一憂しながら、やりがいの大きさも実感しています。今年度も登録者個々のニーズに応えるべく、地域の皆様の温かいご支援をいただきながら、障害者雇用の促進に尽力していきたいと思っております。

節目

児童デイセンターこすもす 所長 押元 昇

お陰様で皆様にささえられて「こすもす」も開所から丸4年が過ぎ5年目という節目の年を迎える事ができました。今年度から昨年のみなし期間を終え児童の福祉分野が自立支援法から児童福祉法へ移行となりました。

「こすもす」では主に、障害を持つ児童がセンターに通っていただき支援を行う「通所支援」、家族の負担を軽減する「家族支援」、行政や学校など各関係機関との「連携」を主軸に事業を展開します。また今年度から「通所支援」において「遊育」に重点を置いた支援を行い、遊びの幅を広げ、「正しく」「楽しく」「安全」に遊び充実した余暇の時間が過ごす事ができるよう支援に努めます。

まだまだ、未熟な点も多くありますが、障害ある児童とその家族が「こすもす」を必要とし、信頼される事業所となれるよう職員一同力を合わせ頑張ります。

新しいスタートに思い

中里の家 次長 鎌田浩幸

中里の家では、4月から7名の新しいスタッフをむかえ平成25年度のスタートを切ることが出来ました。

今年度の取り組みとして、8月よりオープンを予定しているケアホームなかざとの3カ所目のホーム「かがやき」がスタートいたします。

また、中里の家全体では、昨年度同様に、利用されている方々が、「その人らしく暮らせるように」を基本に安全・安心で健康に生活できるように、衛生的な環境を整えるとともに利用されている方々が気持ち良く生活していけるように活動・余暇ともに充実したサービスの提供を心掛けてまいります。

また、障害福祉に従事する職員一人ひとりが、多様に化する時代の流れに逆らうことなく、今の時代に求められている、課題およびニーズを的確に受け止め、各セクション同士がしっかりとスクラムを組み連携することが重要だと考えます。

今後も、法人の理念でもある「自他相愛」の精神で親切丁寧で笑顔いっぱい職場を目指して行きたいと思っております。

笑顔

桜の里 所長 江部純子

桜の里が開所してから約9カ月が経ち、4月初めの春を迎えました。桜の里の名称の由来のとおり、3月初めに咲いた河津桜は明るいピンクで堰周辺を染めあげ私達の心を和ませてくれました。この山本堰は年間を通じて四季折々の草花が咲くように植樹されていて毎日のウォーキングも新鮮な気持ちで取り組むことができます。開所当初7名だった利用者さんも今現在では14名の方にご登録いただいております。利用者の方々が、桜の里で楽しく過ごせるよう、本年度も四季折々な取り組みをしていきたいと思っております。最近つくづく感じますが、心にゆとりを持つことは大切ですね。私には、まだ幼い子供が2人おりますが、子供も日々成長し親の思いどおりにはいなくなってきました。時々子供から「お母さん怒らないで」と言われ自分の顔を鏡で見るとなるほど。子供から教わることは本当に沢山あります。やはり笑顔がみんな大好きです。笑顔あふれる桜の里で皆さんをお待ちしております。また、桜の里に隣接しているテニスコート・グラウンドも是非ご利用ください。

誇りを持ってペン作り

ワークス館山 支援員 小ノ澤景子

新年度が大忙しの中スタートしました。常に受託業務の先行きに不安を感じながらも、受託業務が年収の8割を占めているワークス館山では(株)マービー館山工場からのペンの組立ては、利用者の方々にとってまさに毎日の仕事そのものです。おかげさまで、大震災以降も季節を問わずたくさんの受注がありペンの組立てをして頂いております。開設当初から34年、種類は変わっても利用者の方々の取り組む姿勢は真剣そのもの、代々引き継がれています。

なかなか一般就労には繋がりませんが、福祉的就労の場として、今年度も、誇りを持ってペン作りをしている姿勢を大切にしていきたいと思っております。

雨天のレクリエーション大会

支援員 山田 正人

中里の家

6月19日に中里の家レクリエーション大会を実施致しました。例年は施設のグラウンドにて行っていましたが、昨年度より富崎地区の方々の厚意にて富崎小学校のグラウンドや体育館をお借りして活動を行わせて頂く事もありましたので、今回は初の試みでありましたが地域の方々と交流を深めながら、広いグラウンドを使用してのびのびと体を動かし楽しんで頂きたいと考え計画を立てて準備を進めて参りました。

当日は中里の家の利用者、ショートステイ利用者、桜の里の利用者、そして職員を含め総勢131名での大会開催となりました。あいにく台風接近により悪天候となり体育館での実施となりました。

始めは職員によるレクリエーションです。職員8人が行う風船割りリレー、アメ食い競走で会場を盛りあげました。

続いて利用者さんが赤・白のチームに分かれて、元気に玉入れ競技です。1回戦は赤組の勝ち、2回戦は白組の勝ち、最終決戦と互いに大きな声を張り上げながら玉を投げ合います。結果は…1玉差で赤組の勝利です。接戦を繰り広げた皆さんに盛大な拍手が送られました。

その次は桜の里の利用者、職員による「南中ソーラン」が行われ、練習した成果を披露し元気に踊って下さいました。元気な声に惹かれ中里の家の利用者さんも自然と輪の中に入り踊り始め、1曲では足りずに、2曲分踊って下さいました。

その後は、利用者さん最大の楽しみともいえる「パン食い競争」。笛の合図でスタートすると皆さんもうダッシュ！両手で取り大事に胸に抱え走る方、その場ですぐに袋を開けパンを食べようとする方など様々です。頑張っって口でくわえて取られた方には地域の方々も含め皆が温かい拍手をして下さいました。職員同士による剣道の試合が行われます。互いの気迫ある声に皆がひきつけられ、「頑張れー」と大きな声援が飛び交いました。

大会の目玉ともいえる対抗リレーは、今年は利用者さんと職員が別々になり赤・白・黄の3色のチームに分かれてのリレー形式です。各色を応援する大きな声が体育館に響きわたり、結果は利用者さんチームは「赤チーム」・職員チームは「白チーム」の勝利となりました。皆さん元気いっぱい走り、会場を大いに盛り上げて下さいました。

今回、富崎小学校体育館をお借りして初めての大会でありましたが、怪我をする方もおらず、無事に終わることができ実行委員としてほっと胸をなでおろしております。参加された皆さんが楽しんでいる様子が見られたことが何よりの喜びとなりました。そして、悪天候の中、地域の方々が幾人もご観覧に来られ、競技中大きなご声援を下さり、たいへん嬉しく思っております。ありがとうございました。



▲沢山入ったかな？



▲よーい!! ドン!!

中里 ワークホーム

食べる楽しみ 作る楽しみ

支援員 大出 貴博

楽しかったGWもあつという間の最終日。日頃の行いのおかげで？お天気にも恵まれ、本日はワークホームと桜の里合同でバーベキューを行いました。バーベキューの前に、まずはお腹を減らさなければ！と言うことで片道15分かけて野鳥の森までウォーキング。行楽地の賑やかな雰囲気とは違い、耳を澄ますと風の音や野鳥のさえずりが聞こえてきます。ゆったりとした時間の中で過ごすGWもまた良いものですね。そろそろお腹も減ってきたので、戻っていざ準備開始。今日のメニューはみんなの大好物、焼きうどんとウィンナー。はじめは職員が作っているところを見て「待ってましたー」とばかりに腕を振ります！一度で20人前の焼きうどんを作るので少々悪戦苦闘しましたが、自

分達で作った料理はまた格別。あつという間に完食してしまいました。おいしい料理と楽しい時間で英気を養い、明日からまたお仕事頑張るぞ！



▲焼きうどんづくり

こすもす

児童デイセンター こすもすの春

副主任 家守 亜矢

毎年、春になると、こすもすを利用されているお子様たちは、進級・入学でウキウキ、それぞれの様子がみられます。職員は、新たな年度を迎えて、お子様たちの支援を改めて考えていく機会でもあります。保護者の方々の個別面談を行い、個人個人に合わせた支援に取り組みます。この春のこすもすは…よく遊び！個性を活かす！

流行っている遊び



▲2000ピース挑戦中!!



▲電車大好き!!

春の制作活動



▲こいのぼり



▲海のさかな



▲風がきもちいいー



▲これくださーい

桜の里では、生活介護事業所桜の里 生活介護事業所桜の里 支援員 森村 誠

桜の里では、様々な経験を通じて、潤いのある充実した生活になるよう、買い物以外にもお菓子作り、昼食外出、バーベキューなど行っています。笑顔あふれる毎日になるようみんな楽しんでみたいと思います。

みんな楽しみにしていた、パンやジュース、ソフトクリームを購入し、ウッドデッキのテラスで早速食べました。初夏の風に包まれ、楽しいひと時を過ごしました。

桜の里

楽しいひと時

「田植え」

中里ワークホーム

支援員 富田 諒

さあ、今年もやってまいりました田植え。毎年、この時期になると天気が悪くなったりと順調に進まないことが多いのですが、今年はまだ見事に快晴が続ぎ、おおよそ一週間ほどで終えることができました。

しかしねえ、この田んぼつてのは生き物が豊富でいいですね。特に水棲昆虫を多く見れるのがいい。アメンボ、ゲンゴロウ、ヤゴ。これって水が綺麗な証なんですよね。きたないところには、彼らは住もうとはしません。そんな綺麗な水でつくったお米をより多くの人に食べてもらうために、しっかりと管理していきますよ！



▲秋の実りを楽しみに

皆様に感謝

中里ワークホーム

支援員 川上賢人

中里ワークホーム農産加工班では、4月中旬からフキの収穫を行いました。近隣のお寺やご自宅など、周囲の方々のご好意で毎年収穫させて頂いております。葉と茎を選別し、カゴいっぱいになったら加工室にて『きやらぶき』製造します。加工室から、フキを煮る良い香りが漂い昼頃になると気付けば人集りが…という事も笑。フキ本来の風味を活かし、丹精を尽くし1つ1つ製造致しました。ワークホームの利用者さんと一緒に川名勝さん(中里の家)もフキ収穫にご協力して頂きました。収穫に当たり近隣の方々や保護者様、本当に有難うございました。今後ともよろしくお願ひ致します。



▲フキ収穫



▲袋つめ



▲選別中

栄養士に求められること

中里ワークホーム

栄養士 川名卓也

ふと、「あ〜、お腹がすいたなあ。」
そう思ったとき、スグに何か食べ物を食べることでできる恵まれた環境で生活している人がほとんどです。

その日に食べるものさえなかった食糧難の時代から、今では、キライなものをわざわざ食べなくても食欲が満たされる飽食の時代になりました。その結果、肥満などの生活習慣病を招いて、健康状態が思わしくない人が急増しています。

日本では、いつでも、どこでも食べ物が入ることが当たり前になっています。だからと言って、好きなものばかり食べてはいけません。ファーストフードやインスタント食品、スナック菓子などばかり食べていては、いずれ病気になってしまうことは容易に予測できます。

頭でわかっている、すきなものだけ食べ、運動もしない生活が馴染んでしまっています。一度馴染んだ生活は、そう簡単に改善できるものではありません。

不健康とわかっていながら、なかなか改善できないのです。

このような状況の中、健康な人の健康状態を保つだけでなく、体や気持ちの不安定な人の栄養指導や生活習慣の改善、3度の食事メニューの管理なども、栄養士の重要な仕事となってきます。

苦手な食べ物でも味付けや調理法次第では食べていただけます。今後も利用する方々の食生活をみながら献立をつくっていききたいと思います。

野良仕事お疲れさまでした！

昭和女子大学ボランティア

支援課長 近藤 大介

5月22日に毎年恒例となりました昭和女子大学の方々が、ボランティアとして来所していただき、中里の家と中里ワークホームに15名ずつ30名の学生が、介護から作業支援まで幅広い内容でお手伝いをして下さいました。

今年には施設の作業や運動支援のほかに、ふれあいシヨップでの「ひまわりの定植」を行いました。ふれあいシヨップでは畑の活用として今年には「ひまわり畑」を作ろうと考えていたところ、ちょうどボランティアのお話があり、これはチャンスとお願いする事になりました。

畑では利用者の方々とともに2000本の定植を行いました。学生の方々はたぶん次の日には筋肉痛になっていると思うくらいにきびきびと定植を行い、予定では午後までかかると踏んでいましたが、午前中の内に全て植えることができました。

皆さんが「にじのかけはし」を見ている頃には、もしかしたらひまわり畑になっているかもしれません。是非近くに来た時は必ず「遠く」から見て綺麗に咲いているようならば、畑の中で記念撮影などいかがでしょうか。(失敗していたらすいません。)

また来年は4000本の定植を考えています。(かなりハードです!)昭和女子大のみなさん、来年もまたお願いします!



▲ひまわり畑定植しました



▲昭和女子大のみなさんと一緒に

インドネシア・バリ島へ

中里ワークホーム施設長 岡田義之

4月18日から5日間お休みをいただき、インドネシア・バリ島へ行ってきました。毎年、県内の通所施設の施設長さん数名で海外に出かけ福祉施設や学校を訪問しています。今回で9ヶ国目になります。

今回は、インドネシアのSLBB国立聴覚障害者学校の訪問をしました。ウエルカムダンスでお迎えを頂き、その後ワークシヨップの見学をしました。ロックバンドの練習やバイク修理・パソコン・木工・縫製・他とたくさんメニューがあり、卒業後の進路を視野に生徒たちは真剣に取り組んでいました。

毎回、施設や学校を訪問していますが、どこでも皆さん歓迎してくださること、その交流が何よりうれしく感じます。また、各国の歴史や文化そして、それぞれの国の食べ物など食事を含めた生活や習慣を体験することは、興味深く楽しい時間です。

来年はどこになるやら楽しみです。



▲SLBB 国立聴覚障害者学校訪問



▲ケチャックダンス

中里ふれあい夏まつり

8月7日に中里ふれあい夏まつりを開催します。催事内容は中里の家、中里ワークホーム利用者さんによる屋台引き回し、盆踊り、フラメンコ、フラダンス、大抽選会を予定しています。夜店では、ラーメン、フランクフルト、かき氷等、様々な夜店を出店します。



焼きそば・ラーメン(ワーク製麺班) おこわ・赤飯(ワーク農産加工班) 焼きとうもろこし・生ビール・金魚すくい・お菓子すくい取り・スーパーボール等

平成25年 **8月7日(水)**
雨天延期 **8月9日(金)**
17時50分~20時30分

新 職 員 紹 介



調理員
鈴木 純子

中里の家を退職し、しばらくお休みしていましたが、今年度より中里ワークホームでお世話になることになりました。また皆さんと一緒に楽しく働きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



調理員
中山きみ子

携わってきた仕事を希望しました。人数が多くてびっくりしました。覚えることが多いけど頑張りたいと思います。私は手芸が好きです。時間があれば何か作っています。みなさん作る機会がありましたら声をかけて下さい。みよろしくお願致します。



支援員
林 英里香

初めまして、林英里香と申します。私はあまり人とコミュニケーションを取ることが上手にできないのですが、今の仕事を通じて「相手の気持ち」についてより深く考えながら人と接するようになりました。人をもっと好きになり、気づくことができる人間になっていきたいです。がんばりますのでどうぞよろしくお願い致します。



支援員
鈴木沙也加

今年度、4月から中里の家で支援員として働かせていただいております。鈴木沙也加です。まだまだ未熟で、周りの方々に助けていただきながら、日々取組んでいます。一つ一つの学びを生かしていきたいです。また、利用者の方の気持ちを考え、支援できるように努力していきますのでどうぞよろしくお願い致します。



支援員
國井 早苗

4月より中里の家の支援員として勤務させて頂いていますが、まだまだ覚えることは沢山ありますが一日でも早く仕事を覚え自信を持って仕事ができるように頑張っていきたいです。いろいろな迷惑をおかけすることも多いと思いますがご指導のほどよろしくお願い致します。



支援員
大竹 莉沙

4月から中里の家で働いています。明るく元気に、常に笑顔でモットーに利用者の方々のために頑張っています。私は、歌やバスケットボールが大好きです。利用者の方々とも共通の話をコミュニケーションをとっています。まだまだ覚える事もありますし、利用者の方々の事を考え仕事をしたいです。



支援員
庄司 友孝

平成25年度新人職員の庄司友孝です。館山生まれ館山育ちの23才です。学生時代はサッカー一筋であったため、体力と根性には自信があります。社会人としての第一歩を中里の家で迎えられ大変嬉しく思っています。仕事に慣れないうちは色々ご迷惑をおかけすると思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。



支援員
堀江 崇士

1月よりこちらでお世話になっております堀江崇士と申します。地元館山で就職したのは今回が初めてで気持ちをリフレッシュしたいと思っております。休日はアニメ鑑賞したり、遠出をするなどのんびり過ごしています。仕事の合間など、どうぞお気軽に接して下さい。色々足手まといになるかもしれませんがよろしくお願い致します。

社会福祉法人 安房広域福祉会評議員

任期/平成25年6月1日から
平成27年5月31日

望月	眞	羽	田	幸	弘
鈴木	正弘	田邊	宮ノ	義四	進郎
服部	克巳	藤	加藤	祥	子喜
榎本	豊雄	川	名川	茂	憲治
伊藤	一	川	黒	憲	一
大和	慎	山	川	一	隆
増岡	一	山	山	一	隆
西川	隆	山	山	一	隆

千葉県相談支援発展 推進支援事業補助金

中里ワークホーム特定相談支援事業所「ライフサポートソレイユ」の訪問相談支援を行う車両を配備しました。

当事業所が相談支援を実施する安房地域は範囲も広いため、訪問相談支援を行うには車両が必要不可欠のため、この度の車両の配備により、安房地域全域の訪問相談支援、及び各関係機関との連絡調整が充実され、障害者の地域生活向上が図られます。

- 一 事業名 指定特定相談支援事業所「ライフサポートソレイユ」
- 一 事業の内容 車両の整備事業
- 一 補助金額 84万円



編集後記

新年度を迎えて、心新たに目標に向かってこの「にじのかけはし」もより一層よいものとなるように委員一丸となりお届けできるように頑張っています。これからもよろしくお願い致します。(小林)

ボランティアのお知らせ

中里の家・中里ワークホームでは、随時ボランティアを募集しています。作業など一緒に参加して下さる方、心よりお待ちしております。まずはお電話にてお問い合わせ下さい。

<p>■中里の家 館山市中里 288-1 ☎ 0470 (28) 2022 FAX 0470 (28) 2023 nakazato-ie@minos.ocn.ne.jp</p>	<p>■中里ワークホーム 館山市中里 291 ☎ 0470 (28) 2422 FAX 0470 (28) 2424 nakazato-workhome@m2.dion.ne.jp</p>
--	--

HPURL <http://www.nakazato.or.jp/>